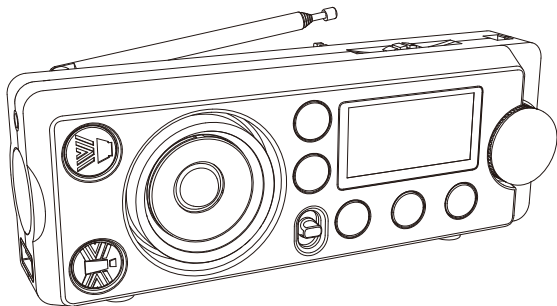


防災セットに入れておくと便利な『デジタルラジオ』

取扱説明書



このたびは「防災セットに入れておくと便利な『明るいラジオライト』」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は保証書を兼ねていますので、紛失しないよう大切に保管してください。誤った使用により生じた損害に関しましては、当社は一切責任を負いませんので、予めご了承ください。

⚠ 警告

- 点灯中のLEDライトやランタンを直視しないでください。視力障害の原因となるおそれがあります。
- ラジオやサイレンは大きな音量で聴かないでください。聴力障害の原因となるおそれがあります。
- 本製品を分解、修理、改造しないでください。発火したり異常作動するおそれがあります。
- 内部に磁石を使用していますので、磁力の影響を受ける製品の近くでは使用しないでください。
- 防水・防滴仕様ではありませんので、雨、シャワーなど水に濡れる恐れのある場所での使用は絶対におやめください。
- 乾電池は、古いものと新しいものを混ぜたり、アルカリ電池とマンガン電池を混ぜて使用しないでください。液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から抜き取ってください。そのまま放置すると、液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。
- 小児の手の届かないところに保管してください。
- 携帯時や保管中に、不用意にスイッチが押されてオンにならないようご注意ください。
- 水気のある所、高温多湿の場所、ホコリの多い場所、直射日光の当たる場所で保管しないでください。

※ケガや故障の原因になりますので、上記を必ずお守りいただいた上でご使用ください。

STP-665 防災セットに入れておくと便利な『デジタルラジオ』取扱説明書

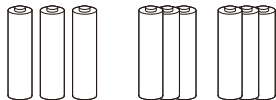
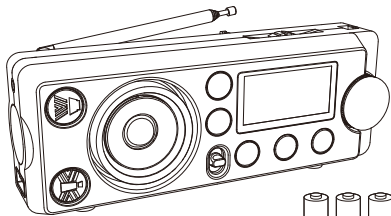
も く じ	1
日常でも活躍する…進化したラジオライト	2
1. 基本機能	5
2. 各部名称	5
3. 付属品名称	6
4. 電 源	6
5. 乾電池の入れ方	7
6. バックライトディスプレイ(液晶画面)	8
7. 時計の合わせ方	8
8. LEDライトを使うには	9
簡易ランタンシェードについて	10
9. ラジオ(AM/FM/ワイドFM)を使うには	10
10. ラジオの周波数の登録	12
11. サイレンを使うには	13
12. イヤホンを使うには	14
13. アップル社正規認証3in1ライトニングケーブルについて	14
14. 携帯電話を充電するには(プラグイン携帯電話充電機能)	15
乾電池(アルカリ電池)より携帯電話を充電する方法	16
◎マイクロUSBとType-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)を充電する方法	18
◎アイフォーンを充電する方法	18
ストラップホールについて	19
デスクスタンドについて	19
仕 様	19
各機能の使用時間の目安	20
保証規定	21
保 証 書	22

日常でも活躍する… 進化したラジオライト

防災セットの必需品として準備したいラジオライト。災害や事故などの緊急時はもちろん、キャンプやアウトドアレジャー、デイリーにも活躍する便利ツールとして人気上昇中！ 日々の暮らしで使い慣れていたら“もしもの事態”にもスムーズに対応できます。使いやすくして便利、いつも身近に置いておきたい進化したラジオライトは、日常&緊急時のマストアイテムです。

スピーディでパワフル！ 実用性が向上した乾電池充電方式

この製品は、手回し充電式から乾電池充電式にアップデートしたものです。備蓄品として用意する際には、本製品+アルカリ乾電池（長期保存可能なタイプ）を数セット。



単3乾電池×3本+長期保存アルカリ乾電池(単3×3本 数セット)

災害時の乾電池不足に備えて多めに用意しておくことをおすすめします。

※現在のアルカリ乾電池は約10年、リチウム乾電池は約20年、性能向上により品質保持期間が長くなっています。

スマホ充電をスムーズに！ 手回しハンドルの労力を解消

緊急時にも頼りになるスマートフォンですが、高性能化に伴い電池容量が大きくなり、スマホ(3000mAh)を約1%充電するには、手回しハンドルでは10～15分もかかります(当社比5833の場合)。そこで、スマホ同様、性能向上を果たしたアルカリ乾電池やリチウム乾電池を活用することで、手軽でスピーディな充電を可能にしました。

「スマートフォン+ラジオ」でより正確で 多岐にわたる情報入手

さまざまな情報をリアルタイムにキャッチできるSNS。信頼性の高い放送を視聴できるテレビやラジオ。より身近な情報を受け取れるSNSですが、その中には正確でないものも含まれ、混乱に陥ることもあります。「スマートフォン+ラジオ」の相互活用で、ご自身にとってより役立つ情報を取捨選択して安心・安全を担保してください。

災害時のラジオは乾電池式がおすすめ!

近年、スマートフォンのアプリでラジオを聴くことができるようになり、防災セットに加えなくてもあるようです。しかし、災害時におけるスマートフォンは家族や友人との連絡、周辺の状況報告、位置情報など、さまざまな用途に使われます。ラジオ放送を聴く場合は乾電池式のものを用意し、スマートフォンとの使い分けをおすすめします。

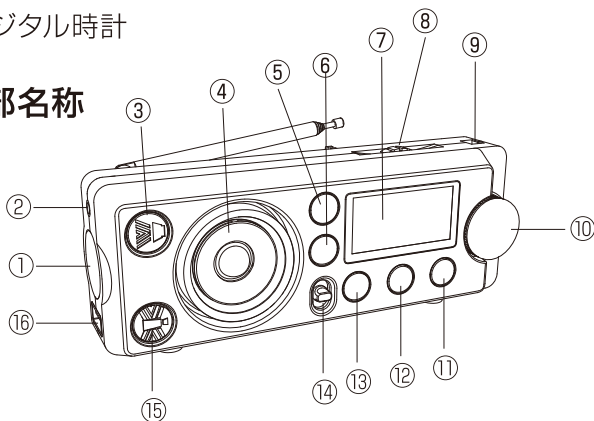
なぜ、手回しハンドル搭載ラジオは一般化したのでしょうか!?

いざという時のために準備されている手回しハンドル式のラジオライト。防災セットが一般的になった2000年当初、水、乾パンなどの食品の保存期間は約5年。一方、乾電池の品質保持期限は約3年と短かったため、当社では、万々に備えた情報源の確保のために充電用の手回しハンドルを搭載したのが始まり…。しかも当時の電球は消費電力(約90秒回して約60秒点灯)が高かったために、ライトの使用は想定外でした。現在は、省電力のLEDライトを搭載することで、ラジオライトとしての活用が可能になりました。

1. 基本機能

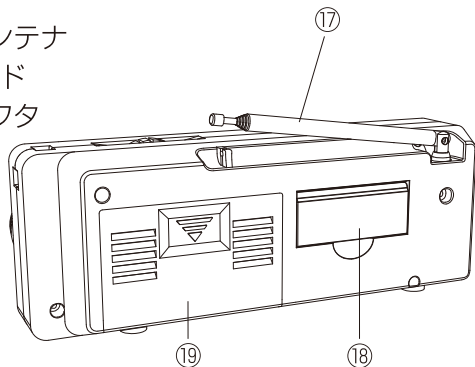
- LEDライト(白色LED1灯/強・中・弱)
- ラジオ(AM/FM/ワイドFM)
ATS機能(ラジオ局自動登録機能)、手動受信
- バックライトディスプレイ
- サイレン(点滅灯)
- ランタン(簡易ランタンシェード使用時)
- プラグイン携帯電話充電機能
- デジタル時計

2. 各部名称



- | | |
|------------------------|------------------------|
| ① LEDライト | ⑨ ストラップホール |
| ② イヤホンジャック | ⑩ ラジオ/サイレン音量ダイヤル |
| ③ LEDライト ON/OFFスイッチ | ⑪ VCH- スイッチ |
| ④ スピーカー | ⑫ ^CH+ スイッチ |
| ⑤ ラジオ電源 ON/OFFスイッチ | ⑬ 時間設定/ATSスイッチ |
| ⑥ FM/AM切換スイッチ/スキャンスイッチ | ⑭ 電源スイッチ(ON/USB出力/OFF) |
| ⑦ バックライトディスプレイ | ⑮ サイレンON/OFFスイッチ |
| ⑧ 手動選局ダイヤル | ⑯ 携帯電話充電端子(USB出力端子) |

- ⑰ FMロッドアンテナ
- ⑱ デスクスタンド
- ⑲ 乾電池BOXフタ



3. 付属品名称

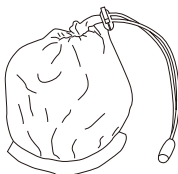
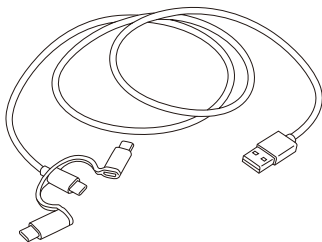
- アップル社正規認証
3in1ライトニングケーブル
対応機種

- アイフォーン
・ライトニング

- アンドロイド
・マイクロUSB
・USB Type-C

※表記の社名または商品名は、
各社の商標・登録商標です。

- 簡易ランタンシェード
- ハンドストラップ
- 取扱説明書/保証書(本書)



4. 電 源

単3乾電池×3本(別売)

5. 乾電池の入れ方

1. ⑨乾電池BOXのフタに表示の矢印(▼)を押しながら下方向にスライドさせてフタを取り外してください。

【図1】【図2】

※フタは取り外し式です。紛失をしないようご注意ください。

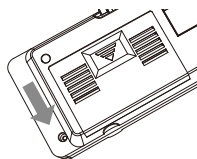
2. 図のように単3乾電池3本のプラスとマイナスを間違わないように正しく入れてください。【図3】

※バネがある方が乾電池のマイナス側になります。マイナス側から入れてください。

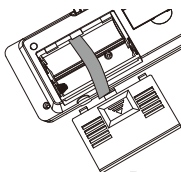
※上部のBOXに乾電池が2本入ります。1本を奥に入れてください。(マイナス側が奥になる様に入れてください。)

※⑨電池BOXに乾電池の取り出し用の黒リボンを取り付けています。後方に巻いて乾電池を入れると取り出す時に便利です。

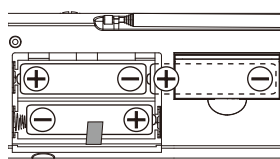
3. ⑨電池BOXのフタを閉めてください。



【図1】



【図2】



【図3】



注意

乾電池についての注意

※乾電池は古いものと新しいものを混ぜたりしないでください。

※アルカリ電池とマンガン電池をまぜて使用しないでください。

※乾電池が消耗するとライトが暗くなったり、ラジオの音声が小さくなったり、ジーと鳴る事があります。その時が電池の寿命となります。新しい乾電池に交換してください。

- ※長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から抜き取ってください。そのまま放置すると、液漏れ、腐食、発火、故障の原因となります。
- ※乾電池が液漏れをおこした場合、手で触らないようにしてください。
- ※乾電池より液漏れをした液体が目に入った場合、医師の指示に従ってください。
- ※乾電池より液漏れをした液体が皮膚にふれたりした場合、水などで洗い流してください。
- ※皮膚に異常が発生したときは医師の指示に従ってください。
- ※スマホ充電やライト使用中に乾電池が熱くなる場合がありますが異常ではありません。

上記の様な状態で乾電池をセットすると、液漏れ、発熱、発火及び本体の故障の原因になりますので絶対にやめてください。間違った方法でのご使用による事故には、製造社及び販売者は責任を負いかねます。

6. バックライトディスプレイ(液晶画面)

※時計とラジオの周波数が表示します。

1. ⑭電源スイッチ(ON/USB出力/OFF)を「OFF」から「ON」に切り換えてください。「ON」にすると約2・3秒後に⑦バックライトディスプレイが時計モードで起動いたします。
2. LEDライト、ラジオ、サイレンスイッチ等を押すとバックライトディスプレイが点灯します。
※バックライトは約20秒間点灯いたします。

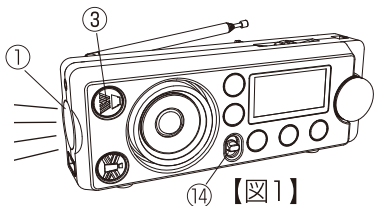
7. 時計の合わせ方

1. 乾電池を入れ、⑭電源スイッチ(ON/USB出力/OFF)を「OFF」から「ON」に切り換えると⑦バックライトディスプレイに時計の表示が開始いたします。
※【0:00】(:が点滅表示いたします。)
2. ⑬時間設定スイッチを3・4秒長押しすると時計モードの「時間」が点滅し、バックライトが点灯いたします。
※「時間」が7・8秒点滅します。

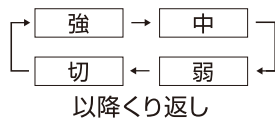
3. 「時間」を合わせます。
⑫**Λ**CH+もしくは⑪**V**CH-スイッチのどちらかを押すか、長押しをして「時間」を合わせて、⑬時間設定スイッチを押してください。「分」が点滅いたします。
4. 「分」を合わせます。
「分」が点滅中に⑫**Λ**CH+もしくは⑪**V**CH-スイッチを押すか、長押しをして「分」を合わせてください。
5. 12H(12時間表示)か24H(24時間表示)を設定します。
もう一度⑬時間設定スイッチを押すと24H(24時間表示)と表示されます。(時計表示の12時間表示(AM/FM)か24時間表示(0:00~23:59)を合わせます。)⑫**Λ**CH+か⑪**V**CH-スイッチを押すと12Hと24Hが点滅しますので、お好みの時間を合わせてください。
※12Hを選択した場合は、午前中は画面左上にAMが表示され、午後は画面左上にPMが表示されます。
※24Hを選択した場合は、「時間」が0から23時で表示されます。
6. 最後に⑬時間設定ボタンを押すか、点滅が消えるまで放置することで終了になります。
※⑦バックライトディスプレイが時計モード時に、LEDライト・ラジオ・サイレンが使用出来ます。

8. LEDライトを使うには

1. 電源は乾電池を使用します。
※乾電池の入れ方に関しては前記の5(7・8頁)を参照ください。
2. ⑭電源スイッチ(ON/USB出力/OFF)を「OFF」から「ON」に切り換えてください。
3. ③LEDライトON/OFFスイッチを1回押すと①LEDライトが「強モード」で点灯します。もう一度押すと①LEDライトが「中モード」で点灯します。さらにもう一度押すと「弱モード」で点灯します。【図1】
4. もう一度押すと①LEDライトが切れます。以降、強・中・弱点灯と切のくり返しになります。【図2】



【図1】



【図2】

※①LEDライトの電球交換はできません。(寿命約4万～5万時間)

※①LEDライト点灯中でも、ラジオの併用が出来ます。

※①LEDライト点灯中に、⑨サイレンON/OFFスイッチを押すとサイレンが鳴り、①LEDライトが点滅いたします。⑩ラジオ/サイレン音量ダイヤルを反時計回りに回してください。サイレン音が大きくなります。

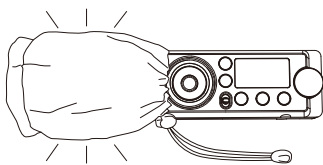


禁止

①LEDライトが点灯している間は、光を直視しないでください。視力障害の原因となります。

簡易ランタンシェードについて

付属品の簡易ランタンシェードを図のようにかぶせるとランタンになり、デスク周りを明るく照らすことができます。【図3】



【図3】

9. ラジオ(AM/FM/ワイドFM)を使うには

●AM周波数:522～1629kHz

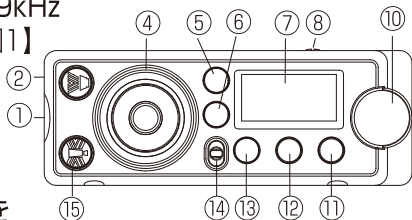
の表示内で受信可能。【図1】

●FM/ワイドFM周波数:

76.0～108.0MHzの

表示内で受信可能。

●⑭電源スイッチ(OFF/USB出力/ON)スイッチを「ON」にしてください。



【図1】

1. ⑤ラジオ電源ON/OFFスイッチを押すとラジオが鳴ります。
※ラジオの電源が入ると⑦バックライトディスプレイが時計表示からラジオの周波数表示に変わり点灯します。
2. ⑥FM/AM切換ボタンで「AM」か「FM」を選択します。
※⑥FM/AM切換ボタンで「AM」か「FM」のお聴きになりたいバンドに合わせてください。(AMかFMの表示が画面左上に表示されます。)AM表示(522~1629kHz)
FM表示(76.0~108.0MHz)
※放送局の受信は10(12・13頁)のラジオの周波数の登録の欄をご覧ください。
3. ⑩ラジオ/サイレン音量ダイヤルを反時計回りに回すと④スピーカーから音が鳴り、音声が大きくなります。適当な音量に調整してください。時計回りに回すと音が小さくなります。
※ラジオの音量を上げるときは、徐々に上げてください。大きな音は聴力障害となる恐れがあります。
4. ラジオを切る時は⑤ラジオ電源ON/OFFスイッチを押すとラジオが切れ、時計モードに変わります。さらに⑭電源スイッチを「OFF」に合わせてください。
※ラジオの音量の音を小さくしただけでは電源が入ったままになり、電池容量が消費いたします。必ず、⑤ラジオON/OFF電源スイッチでラジオを切ってください。
※ラジオ電波はその特性上、場所によって受信しにくい場合があります。その際は本体の向きを変えたり、窓側に行ったりしてなるべく電波の受信状況の良い場所を選んで使用してください。ご使用の地域によって電波が受信しにくい場所がありますので、あらかじめご了承ください。
※AM放送をお聴きの時は本体の方向を変えて、最も受信感度の良い状態でお楽しみ下さい。又、FM放送をお聴きの時は、⑰FMロッドアンテナを動かして感度の良い状態でお楽しみください。
※ラジオ使用中でも、①LEDライトの併用が出来ます。

※ラジオ使用中に、⑮サイレンON/OFFスイッチを押すとサイレンが鳴り①LEDライトが点滅いたします。

- 5.お手持ちのイヤホン②イヤホンジャックに差し込むとラジオ音声スピーカーより消え、イヤホンからラジオ音声聴けます。



ラジオの音量の調整にご注意ください。音量ダイヤルを急激に回したり、大きな音量で聴かないようにしてください。大きな音は聴力障害などの原因となるおそれがありますので、絶対におやめください。



イヤホン装着時の注意:ラジオをイヤホンで聴いている時、⑮サイレンON/OFFスイッチを押すとサイレン音がイヤホンから鳴ります。サイレンを使用する際には必ずイヤホンをイヤホン端子から抜き取ってください。イヤホンをつけたままサイレンを聞くと聴力障害などの原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。

10. ラジオの周波数の登録

放送局の周波数をあらかじめ本機に登録することができます。

AM…10局

FM…20局

ATS機能について

ATSとは、「オートチューニングセット」の略で、現在地で聴けるラジオ局を自動で探し、そのまま本体メモリー登録してくれる機能です。

※登録は「AM」と「FM」それぞれ行う必要があり、登録方法は自動受信で行います。

1. 自動受信

※自動受信は「AM」「FM」の両方の放送局の設定が可能です。ラジオがONの状態⑮で⑰時間設定/ATSスイッチを3・4秒長押しすると数字が進み、ラジオをご利用の地域の放送局を自動受信し、登録を行います。

※P01から順番に登録が始まります。

※お使いの地域で受信可能な放送局を順次設定し、自動受信が終了すれば最初に設定された放送局(P01)に戻り放送が開始されます。

※AMとFMそれぞれお聴きの放送局から⑪VCHスイッチと⑫ΛCH+スイッチを押すごとに登録した放送局に移動します。

2.手動受信

1. ⑧手動選局ダイヤルを回すと⑦バックライトディスプレイの「周波数」が動きます。お聴きになりたい放送局に合わせてください。(放送局の数字が変更します。ご使用の地域の放送局を受信するとラジオが鳴ります。⑩ラジオ音量ダイヤルで適音に合わせてください。)

スキャン機能について

ラジオ使用中、⑥FM/AM切換スイッチ/スキャンスイッチの下半分のスキャン部分を2・3秒長押しすると、自動受信で登録したご使用の地域のAM放送局とFM放送局のそれぞれお聴きの放送局の周波数からダイヤル数字の若い放送局から順番に受信をいたします。

※スキャン中に周波数の数字が移動中に⑬ATSボタンを押すと途中で止まりキャンセルされます。

11. サイレンを使うには

1. ⑭電源スイッチ(ON/USB出力/OFF)を「OFF」から「ON」に切り換えてください。
2. ⑮サイレンON/OFFスイッチを押し、⑩ラジオ/サイレン音量ダイヤルを反時計回りに回すとサイレンが④スピーカーから鳴ります。更にダイヤルを回すとサイレン音が大きくなります。
3. サイレンが鳴っている間は①LEDライトが点滅します。
4. サイレンを止める場合は⑮サイレンON/OFFスイッチを押してください。さらに⑭電源スイッチを「OFF」に切り換えてください。



注意

サイレンは大きな音になります。耳元に近づけると聴力障害などの原因になるおそれがあります。絶対おやめください。

12. イヤホンを使うには

※イヤホンは付属していません。お手持ちの3.5mmプラグのイヤホンをご利用ください。

※お手持ちのイヤホンを利用して、④スピーカーから音を消して、イヤホン音声でラジオ放送をお楽しみになれます。

※イヤホンの先端プラグを②イヤホンジャックの端子に差し込んでください。あとは前記のラジオの使い方をご覧になり、お楽しみください。



注意

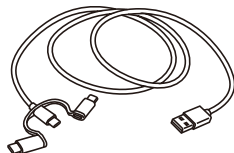
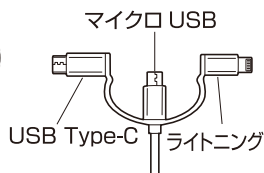
イヤホン装着時の注意: ラジオをイヤホンで聴いている時、⑮サイレンON/OFFスイッチを押すとサイレン音がイヤホンから鳴ります。サイレンを使用するには必ずイヤホンをイヤホン端子から抜き取ってください。イヤホンをつけたままサイレンを聞くと聴力障害などの原因になる恐れがありますので、絶対おやめください。

13. アップル社正規認証3in1ライトニングケーブルについて

対応機種: アイフォン(ライトニング)
アンドロイド(USB Type-C)
マイクロUSB)

◎携帯電話の充電に使用します。

アップル社正規認証ライトニングケーブルではライトニングとUSB Type-C、マイクロUSBが付いています。このケーブル1本でほとんどのスマホに対応しています。アップル社正規認証を獲得していますのでiOSのアップデートにも対応しています。



データ通信の規格は、USB2.0規格準拠となります。ライトニング接続時は、最大2.4A出力が可能です。(ただし、出力側の機器が対応している必要があります。) ※USB PDには非対応

※携帯電話の充電につきましては、後記の14(15・16・17・18頁)をそれぞれ参照ください。



注意

使用上のご注意

火傷や火災の原因となりますので、以下の事は絶対におこなわないでください。

※コネクタおよびケーブルを加工、分解する事、ケーブルを引っ張ったり、無理な力をかけたり、曲げたりケーブル上に物を置く事。電極部分が結露した状態や、水分や異物がついた状態で使用する事。

※ケーブルを抜き差しするときは必ずコネクタ部分を持っておこなってください。

※熱のこもる場所(ポケットやバッグの中、布団の中など)で使用しないでください。

※濡れた手で使用しないでください。

※本ケーブルは充電用です。

※水気のある所、高温多湿の場所、ホコリの多い場所などでは使用しないでください。

※乳幼児の手の届かないところに保管してください。

※充電中に異常を感じた際には、すぐに使用を中止し弊社までご連絡ください。

※マイクロUSBコネクタを使用される場合、表/裏にご注意ください。

一方で入らない時は、逆向きにしてさし込んでください。

※コネクタをさし込む時はまっすぐに入れてください。また抜く時もまっすぐに抜いてください。

※マイクロUSBコネクタの金属の接合部分が半分入れれば接続できています。

※形状の異なるコネクタを無理に押し込んだりすると破損や故障の原因となります。絶対におやめください。

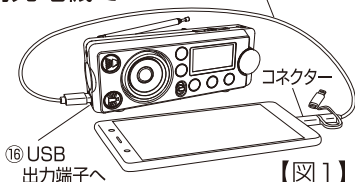
※携帯電話にケース等をしたまま充電動作をした場合、ケースの形状によっては上記コネクタのさし込みが不十分であったり、正しくさし込みができない場合がありますので予めご了承ください。(ケースを外せば正しく装着することが出来ます)

※一部の機種で使用できない場合がありますので、ご了承ください。

14. 携帯電話を充電するには(プラグイン携帯電話充電機能)

※通常はお客様のお手持ちの専用充電機で 3in1 ライトニングケーブル
をお願いします。

※携帯電話への充電は緊急時の
一時的な補充として、他に方法
がない場合に備えたものです。
あらかじめご了承ください。



【図1】

1. 携帯電話の充電は下記の条件で充電が可能です。

※アルカリ乾電池からの充電。

2. 付属品の3 in 1ライトニングケーブルのUSB部を⑩携帯電話充電端子(USB出力端子)に差し込んでください。ケーブルの反対側にお手持ちの携帯電話の接続端子に合わせてコネクタを差し込んでください。【図1】

※形状の異なるコネクタを無理に押し込んだりすると破損や故障の原因となります。絶対におやめください。

※一部の機種で使用できない場合がありますので、ご了承ください。

乾電池(アルカリ電池)より携帯電話を充電する方法

※使用する乾電池は必ず新品のアルカリ電池をご使用ください。マンガン電池では充電できません。

※本体に乾電池を入れる場合、前記の5. 乾電池の入れ方(7・8頁)を参照してください。

1. ⑭電源スイッチ(ON/USB出力/OFF)を「USB出力」に合わせてください。

2. 乾電池の電力で携帯電話本体が充電中の状態になりますので確認してください。

※乾電池で携帯電話の充電中はLEDライト、ラジオ、サイレンは使用出来ません。

3. 充電を停止する時は、⑭電源スイッチ(ON/USB出力/OFF)を「OFF」の位置に合わせてください。



●アルカリ乾電池より携帯電話を充電した場合、アルカリ乾電池が熱くなります。充電中もしくは充電直後はアルカリ乾電池を絶対にさわらないようにしてください。火傷をする恐れがあります。

●充電終了後15分程度は乾電池に触らないでください。

●更に充電をつぎ足したい場合は、新しいアルカリ乾電池をご使用ください。

- 残り少ない乾電池で携帯電話の充電を行うと時計がリセットされます。時間の初期モードの【0:00】表示になります。携帯電話の充電後は時間を再セットしてください。
※時計の合わせ方に関しては、前記の7(8・9頁)を参照してください。

注意 ○適合機種について

- PHSには充電できません。
- 市販されているほとんどの携帯電話に対応していますが、一部の機種で使用できない場合がありますのでご了承ください。
- 海外製の機種にはお使いになれません。
- 充電開始後すぐに「警告」や「充電をやめてください」というような表示がでてくる場合もあります。その際はすぐに充電をやめてください。故障の原因となります。
- 充電ができない場合は、当社窓口にご相談ください。
- タブレットシリーズへの充電はできません。

携帯電話充電の際の安全上のご注意



注意

メモリー消失に注意!

携帯電話機は当社製品の使用に関わらず、何らかの原因によって電話帳や登録情報などのメモリーが、突然消失してしまう危険性があります。登録情報はあらかじめ別の方法(バックアップ等)で控えをとっておくことを強くお勧めします。なお、本製品の使用により一時的に携帯電話が通話できなくなったり、メモリーが消失したりいたしましても、当社では責任を負いかねますので、ご了承の上、お使いください。

普段の充電は純正充電器で…

本製品のご使用はあくまで、純正の充電器が使用できない場合の一時的なご利用を想定して設計されております。日常の充電には携帯電話会社純正の充電器をお使いいただきますようお願い申し上げます。

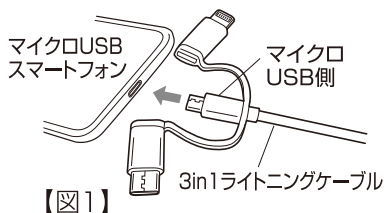
最近のスマートフォン、アイフォーンの場合、内蔵のバッテリー容量が大きくなっているため、機種により充電効率はかなり低下します。あらかじめご了承ください。

◎マイクロUSBとType-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)を充電する方法。

※お手持ちのスマートフォンがマイクロUSB接続端子の場合

付属品の3in1ライトニングケーブルのマイクロUSB側を差し込んでください。【図1】

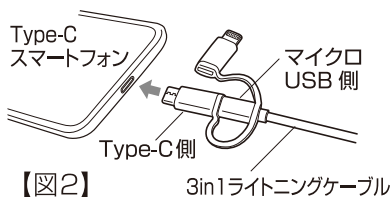
※マイクロUSB側を使用される場合、表/裏にご注意ください。一方で入らない場合は逆にして入れてください。



※お手持ちのスマートフォンがType-C接続端子の場合

付属品の3in1ライトニングケーブルのマイクロUSBの先にType-C側を取り付けて、Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)に差し込んでください。

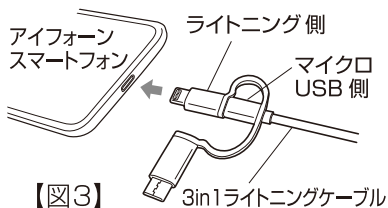
【図2】



◎iPhoneを充電する方法。

※お手持ちのiPhone(ライトニング)の場合

付属品の3in1ライトニングケーブルのマイクロUSBの先にライトニング側を取り付けて、iPhoneのライトニングに差し込んでください。【図3】



※乾電池からの充電方法につきましては、前記の14(15・16・17頁)をそれぞれ参照ください。

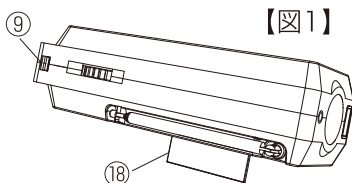
⑨ストラップホールについて

⑨ストラップホールに付属品のハンドストラップを取り付けることができます。【図1】

※手首に通してお使いになれば誤って手をすべらしたり、手を放してしまっても本機を落とす心配がありません。

⑱デスクスタンドについて

本体裏面に⑱デスクスタンドが収納しています。デスク上で使う時はこのスタンドを引き出してデスクに置くと操作しやすくなります。【図1】



【図1】

○仕様

- ・LEDライト : 白色LED1灯:(強・中・弱)
- ・ランタン : 簡易ランタンシェード使用時
- ・ラジオ (受信周波数) : AM:522~1629kHz
FM/ワイドFM:76.0~108.0MHz
- ・携帯電話 : プラグイン携帯電話充電機能
- ・サイレン : LEDライト点滅
- ・バックライトディスプレイ: デジタル時計、ラジオ表示
- ・時計 : デジタル時計表示
- ・アンテナ : FM/ロッドアンテナ AM/内蔵フェライトバー
- ・電源 : 単3乾電池×3本(別売)
- ・付属品 : アップル社正規認証ライトニングケーブル3in1対応機種
○アイフォーン(ライトニング)
○アンドロイド(マイクロUSB、USB Type-C)
簡易ランタンシェード/ハンドストラップ
取扱説明書/保証書(本書)
- ・イヤホンジャック : 3.5mmジャック イヤホン(別売)
- ・本体寸法 : 150×42×55mm
- ・本体材質 : ABS樹脂、他
- ・使用温度 : -10~40℃

各機能の使用時間の目安

※諸条件により使用時間は異なります。この表はあくまでも目安であり、必ずしもお約束できるものではありません。およびその目安になりますので、あらかじめご了承ください。

※LEDライトとラジオを併用使用した場合、使用時間の目安は短くなります。

単3アルカリ乾電池を使用した場合（日本製アルカリ乾電池単3×3本）

乾電池での使用時間の目安

機 能	連続使用時間	備 考	
LEDライト	強点灯	約24時間	徐々に光が弱くなります。
	中点灯	約36時間	
	弱点灯	約54時間	
ラジオ（AM/FM放送）	約40時間	音量によります。	
携帯電話	約180分	連続通話時間	
	約77時間	連続待ち受け時間	

※携帯電話への充電は機種や状態により大きく異なります。緊急時の一時的な補充として、他に方法がない場合に備えたものです。あらかじめご了承ください。

明るさ：lm（ルーメン）

機 能	lm（ルーメン）	備 考	
LEDライト	強点灯	約50ルーメン	徐々に光が弱くなります。
	中点灯	約35ルーメン	
	弱点灯	約15ルーメン	

新品乾電池からスマートフォンを充電後のライトとラジオの参考時間

機 能	連続使用時間	備 考	
LEDライト	強点灯	約19時間	新品乾電池使用時より明るさは暗くなります。
	中点灯	約15時間	
	弱点灯	約2時間	
ラジオ（AM/FM放送）	約29時間	音量によります。	

※上記はあくまで参考値です。スマホの規格や使用温度により異なることがあります。

※ライトの計測終了は、30cmの距離に置いた測定器の照度が300lxを下回った時間を計測終了時間としています。

充電式ニッケル水素電池（1.2V/1,900mAh）を使用した場合

使用時間の目安

機 能	連続使用時間	備 考	
LEDライト	強点灯	約18時間	徐々に光が弱くなります。
	中点灯	約24時間	
	弱点灯	約41時間	
ラジオ（AM/FM放送）	約36時間	音量によります。	

※充電式ニッケル水素電池を満充電後の使用時間



※商品改良のため、予告なく商品の仕様が変更されることがあります。
※説明書本文に記載の社名や商品名・固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

STP-665-23-01